【樹木の部屋】

ハナセンナ（マメ科センナ属　Senna corymbosa）

和名：ハナセンナ（花梅那）　別名：アンデスの乙女　英名：Buttercup bush

マメ目　常緑低木　　原産地：南アメリカ

花言葉：輝かしい未来　　花色：黄

←↓ 写真-１、２ ハナセンナ
撮影日：2016 年 05 月 26 日
撮影場所：ニース(フランス)にて
撮影者：M　さん

ニースの朝市からホテルへ帰る途中の公園、プロムナード・デ・パイヨンで見かけました。

高さ 2～3m の常緑低木ですが、寒冷地では冬に落葉するか枯れるそうです。

葉は偶数羽状複葉で、2～3 対の小葉からなり、小葉は長さ 2.5～8cm の披針形～長楕円状倒卵形で、基部が左右不相称になります。

花期は 9～10 月で、葉腋や茎先に長さ 4cm ほどの総状花序を出し、4～10 個の花をつけます。花は鮮やかな黄色の 5 弁花で、花弁は長さ 1.5cm で丸く、雄蕊は 10 本あります。果実は長さ 8～13cm で円柱形の豆果で、30～50 個の種子があります。

日本には園芸用として昭和に入ってから渡来したそうです。ハナセンナ（花旃那）は生薬のセンナ(旃那)の仲間で花がきれいなことからつけられたそうです。